

【解答】

① 1

メイクセラピーとして最も大切なことは、受け手が「自分の力で実現できるレベルの技術」を提供することであり、受け手の日常に変化を起こさせることである。その大きな特徴として、受け手が普段使用しているメイク品を活かして化粧を施すことがあげられる。よって、1が不適切。

② 3

基礎化粧は美肌作りには欠かせない美容行為の一つである。それ以外に、健康的な肌を作るために「豊かな表情」「規則正しい生活」「ストレスを溜め込まない」「生活環境を整える」などがあげられる。よって3が不適切。

③ 5

メイク技術そのものは素晴らしく、仕上がりも美しいのにも関わらず「望んでない顔」になるのは不満や不愉快に繋がる。施したメイクが受け入れられないクライアントには無理に同意を求めず、理由を聞き、速やかに修正するのが正しい。

④ 4

混合肌（乾燥型脂性肌）は、普通肌に乾燥やオイリーな部分が混ざっているもので、日本人に多い。

⑤ 5

化粧をする理由として、最大の要因である「自己表現」だが、上手な人もいれば、逆効果になっている人もいる。間違った化粧法を学んでしまったり、単に化粧の知識がないという場合などに、逆効果になってしまう傾向がある。また、思い込みは行動や印象に大きな影響を与える。

⑥ 1

メイクセラピーにおいて、お世辞や迎合は厳禁である。話をそらしたり、聞き流すことはクライアントに対しての共感が感じられないので、1が不適切。

⑦ 2

⑧ 5

対話の優先は常にクライアントにあらねばならない。憶測で対応したり急かしてはいけない。感情表現が少ないクライアントの場合は、よく観察し、話を傾聴していく中でクライアントから伝わってくる気を察知する感覚が必要となる。